



2026年5月15日

各位

会社名 ENECHANGE 株式会社
代表者名 代表取締役 CEO 丸岡 智也
(コード番号: 4169 東証グロース)
問合せ先 執行役員 CFO 篠原 雄一郎
(TEL 03-6635-1021)

通期連結業績の前期実績値との差異に関するお知らせ

当社は、2026年3月期（2025年4月1日～2026年3月31日）の通期連結業績予想について、経常利益以下の予想は非開示としていましたが、前期実績値との間に差異が生じ、開示基準に達することとなりましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 通期連結業績と実績値との差異

(単位: 百万円)

	売上高	営業利益	調整後 EBITDA	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前期実績値 (A) (2025年3月期)	6,715	△3,630	—	△2,081	△1,273	△36円27銭
当期実績値 (B) (2026年3月期)	6,697	592	653	△148	130	3円6銭
増減額 (B-A)	—	—	—	—	—	—
増減率 (%)	—	—	—	—	—	—
(ご参考) 前回発表予想 (2026年3月期)	6,580	580	670	—	—	—

※2025年3月期に関しては15か月の変則事業年度であるため、増減額及び増減率の記載はしていません。
※調整後 EBITDA=営業利益+減価償却費+のれん償却費+株式報酬費用と定義しております。

2. 差異の理由

前期は15ヶ月決算であった一方、当期は12ヶ月決算であったため、増減額及び増減率を記載しておりません。また、調整後 EBITDA につきましては、前期は非開示項目であったため、前期実績は記載しておりません。

営業利益は592百万円の利益となりました。EV充電事業が合弁会社化に伴い連結の範囲から除外されて費用負担の軽減が進んだこと、電力切替支援、SaaS・システム開発ともに業績が好調であったことから、前期の営業損失から大幅に改善いたしました。

経常利益は148百万円の損失となりました。EV充電事業の合弁会社化に伴い持分法適用会社となっていたミライズエネチェンジ株式会社及び Japan Energy Capital 2 L.P. における持分法投資損失を計上した一方で、上記の通り営業利益を計上した結果、経常損失とはなったものの大幅に損失額が改善いたしました。

親会社株式に帰属する当期純利益は130百万円の利益となりました。前期計上された関係会社株式売却益が当期には計上されなかったものの、当期において過年度に計上されていなかった繰延税金資産を計上した結果、経常利益のマイナスを上回って法人税等調整額を利益方向に計上いたしました。

以上